

『時事直言』 No.1567 2022年9月12日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

小冊子 Vol.129 執筆中

本題は、故安倍晋三に捧げる「日本の安全保障総括」(永久保存版)である。

カイロ宣言、ヤルタ会談、ポツダム宣言と日本が無条件降伏に至るまでのアメリカと他の戦勝国との対日利権争いを制し、日本の主権者となったマッカーサーGHQ 総司令官は、日本側の松本憲法改正要綱(1946年2月8日提出)を拒否、1946年2月23日から7日で作った日本国憲法(1947年5月3日施行)が現行憲法であるが、そこに至るまでの極東委員会(GHQ 戦勝国上部組織)とマッカーサーの葛藤など詳しく述べる。

第二次大戦を裁く極東国際軍事裁判(1946年5月3日開廷)におけるキーナン米首席検事の、神聖なる裁判所における醜態、暴言等による「世紀の大芝居」とその狙い、そして問われた昭和天皇の戦争責任。

サンフランシスコ講和条約と同時に締結しなくてはならなかった日米安全保障条約(1951年9月8日)。

アメリカの周到な対日洗脳「日米安保は日本の安全の要」、そしてもう一つの対日洗脳「北方領土が返る日、平和の日」で日本を自発的に追従させるアメリカ。

沖縄の復帰(1972年5月15日)を可能にしたニクソン・佐藤の密約(他策ナカリシヲ信ゼムト欲ス若泉敬-佐藤・ニクソン交渉黒子役)と佐藤が非核三原則でノーベル平和賞が与えられた背景と沖縄の現実。

日中国交正常化(1972年9月29日)における田中・周恩来の密約が基で始まった尖閣諸島問題。「一つの中国」が何故妄想なのか。

まるで水車小屋に立向かうドン・キホーテのような安倍晋三の日本国憲法第9条改正の不毛さ。

日本の安全保障に残された二つの可能性、「憲法作り直し」か「？」しかない。

アメリカの国益、日本支配の為にセットされた、変えることが許されない日本国憲法を逆手に取る、救済日本の妙案が目前にある！

世界の選択は二者択一「虚偽の平和」か「真実の戦争」か。

それでも今の日本人は世界一の金持ちでいたい。

終わりに、サムライ増田が生涯を捧げて実行したいこととお話したい。

総て事実に基づいた「日本の安全保障総括」は、いつでも読める保存版です。

好評配信中！増田俊男の「インターネット国際政経塾」

『「美しい日本を取り戻す」-安倍晋三』(10日間・50本以上の配信数)

内容は、※毎朝「本日の株式指南」をお送りします、*東西冷戦、台湾有事、第三次世界大戦はフェイク(偽)*バイデンの対中挑発から対中会話への変更の裏*安倍国葬は「インドがどちらにつくか」の踏み絵*これから「増田塾の仲間」は「お金の心配」が無くなる*雑談：来るべきターニングポイント 10月にどう対処するかなど全7話予定です。★繰り返し何度もご視聴いただけます。受講料：初受講 55,000円、再受講 33,000円〔消費税込み〕配信予定期間：9/5~9/16

詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。